

シーニックバイウェイ北海道 平成 21 年度 ルート運営活動報告

・主な運営活動

【目次】

- ◆ 支笏洞爺ニセコルート
- ◆ 大雪山・富良野ルート
- ◆ 東オホーツクシーニックバイウェイ
- ◆ 宗谷シーニックバイウェイ
- ◆ 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- ◆ 函館・大沼・噴火湾ルート
- ◆ 萌える天北オロロンルート
- ◆ 十勝平野・山越ルート

Scenic Byway Hokkaido 2009

支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『恵庭の花めぐりプレミアムガーデンバスツアー』

【内 容】お庭とお花が堪能できる、とてもよければりなプレミアム・ガーデンツアーを開催。
札幌駅から地元ボランティアガイドが同行しバスで移動。えこりん村の庭園見学、
恵み野オープンガーデンの自由散策、サンガーデンの花苗生産見学等を楽しんだ。

【日 時】平成21年7月11日（土）【参加人数】45名

【場 所】JR札幌駅→えこりん村・花の牧場、銀河庭園見学・ランチ

→恵み野ガーデニング見学→道の駅花ロードえにわ→JR各駅

【主 催】（株）ノーススタートラベル【協 力】（株）えこりん村、（財）恵庭観光協会

【企 画】えにわシーニックプロジェクト



支笏洞爺ニセコルート 《洞爺湖エリア》

ST-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

よごさん（453）キャンペーンと
洞爺湖有珠山ジオパークを知るフットパスを巡るモデルツアー

【内 容】道路清掃事業「秋のよごさん(453)キャンペーン」は、ゴミ拾いをして道路景観を良くすることによって、訪れる観光客に快適なドライブを楽しんでもらうことを目的にスタート。広範囲の道路清掃活動として注目を集めています。

また、この度、ユネスコの支援により設立された「世界ジオパークネットワーク」の国内第一号として「洞爺湖有珠山ジオパーク」が認定されたことを記念したフットパスを巡るモデルツアーを実施。

【日 時】平成21年9月5日（土）

【場 所】洞爺湖周辺「そうべつ情報館アイ」駐車場集合

【主 催】よごさんキャンペーン実行委員会（そうべつくだもの村他）

【参加人数】120名



支笏洞爺ニセコルート 《洞爺湖エリア》

ST-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

洞爺湖エリアにおける『胆振の国（いぶりのくに）』
食ブランド化プロジェクト
「シーニックドレッシング」の企画・開発

【内 容】洞爺湖エリアの「食」に関係する生産者・加工者・料理人の連携・協働により、地域の新しい魅力となる食ブランド商品を開発して、地域産業の活性化と観光の振興に貢献することを目的として実施。プロの料理人とのコラボレーションによる、西胆振エリアの食材を活用した商品の開発を行い、地域住民を対象とした試食モニター調査を行った。それにより、試作品の食ブランド化に向けた評価と商品改良を行った。

【日 時】平成21年度

【主 催】ゆったりリズム体験倶楽部

【協 力】虻田高等学校生徒、洞爺湖料理研究会（洞爺湖温泉街のプロ料理人集団）



■虻田高校学校祭での試食会に使用した「春雨サラダ」



■洞爺湖温泉協会祭での試食会に使用した「野菜サラダ」※虻田高校試食会のものよりオイル量を1/2にして粒マスタードを加えている。

■第1回試食会の様子



■第2回試食会の様子



支笏洞爺ニセコルート 《洞爺湖エリア》

ST-3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2010inそうべつ
壮瞥町営温泉「ゆーあいの家」

【内 容】洞爺湖エリアでの開催は今回で4回目。毎回思考を凝らした取り組みが行われており、今回はそうべつ町営温泉「ゆーあいの家」からシーニックナイト2010がスタート。壮瞥町営温泉「ゆーあいの家」のアプローチを温かな灯りでお客様をお出迎え。中心メンバーのそうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、壮瞥町商工会青年部他の方々による様々なおもてなしメニューが温泉を訪れた方々に提供された。

【日 時】平成22年1月29日（金）17：00～

【場 所】ゆーあいの家 【参加人数】約100名

【主 催】シーニックナイト2009実行委員会

【共 催】支笏洞爺ニセコルート洞爺湖エリア代表者会議



支笏洞爺ニセコルート 《ニセコ羊蹄エリア》

SN-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

教育環境プログラム

「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」

【内 容】 倶知安東小学校3年生の児童を対象として、環境教育プログラムの一環として「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」を行った。ここで制作したキャンドルはシーニックナイト2010の会場でも設置されるなど、複合的な取り組みとして展開した。

【日 時】 平成22年2月9日（火）

【場 所】 アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」

【主 催】 NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会

【参加人数】 40名（倶知安東小学校3年生ほか）



支笏洞爺ニセコルート 《ニセコ羊蹄エリア》

SN-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の開設

【内 容】 観光客と地域住民の交流の場として、2009年7月にオープンしたアンテナショップ。生産者が直接届ける季節の野菜や地域の銘菓等がブースに並びバラエティ豊富な品揃えとなっている。

【日 時】 平成21年7月27日開設（通年営業）

【場 所】 倶知安町字琴平131-5

【主 催】 くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会
（NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会）



支笏洞爺ニセコルート 《ニセコ羊蹄エリア》

SN-3

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2010」

【内 容】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りでつなぐ、「シーニックナイト2010」を開催し今年で5年目。ニセコ羊蹄エリアにおいても年々会場毎に思考を凝らしたオブジェやスノーキャンドルに加え、地域イベントとの連携など幅広い取り組みとして地域内に定着してきている。

【日 時】平成22年2月6日から2月27日まで（ルートとしては1月31日から）

【場 所】支笏洞爺ニセコルート（ウェルカムエリア・洞爺湖エリア・ニセコ羊蹄エリア内）

【参加人数】約600名

【主 催】シーニックナイト2010実行委員会【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議

【後 援】北海道開発局（札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部）



洞爺町商店街



京極町三条通り商店街



倶知安「雷トピアフェスティバル」



ニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」



大雪・富良野ルート

T-1

TAISETSU-FURANO ROUTE

沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーンの開催

【概 要】平成17年度「集中活動月間」の活動としてはじまった「ゴミゼロキャンペーン」は、沿道の清掃活動を広域で連携して実施する活動。平成21年度で5回目の開催。毎年、4月下旬から5月30日までをキャンペーン期間として、旭川や上富良野で関係行政とも連携し、清掃活動を実施している。毎年約200人以上が関わっている。

【日 時】西神楽：4月25日（土）10:00～12:00 旭川空港周辺：4月26日（日）10:00～12:00
上富良野町：5月10日（日）10:00～12:00

【場 所】西神楽・旭川空港周辺・上富良野町

【主 催】シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート

【参加人数】西神楽（約60人）、旭川空港周辺（約40人）、上富良野会場（約100人）



大雪・富良野ルート

TAISEI-TSU-FURANO ROUTE

T-2

花の植栽活動

【概要】ルートの沿道を花で彩るために、各地で沿道の植栽活動を実施。旭川空港線の花植栽は、平成19年から旭川土木現業所とNPO法人グラウンドワーク西神楽が連携。ラベンダーの苗の植え替えは、平成21年度で完了。

【日時】5月～6月

【主催】NPO法人グラウンドワーク西神楽、東川町花俱樂部、深山峠観光開発振興会、上富良野町商工会

【参加人数】旭川空港線(約60人)、東川町(約150人)、上富良野町(約90人)



大雪・富良野ルート

TAISEI-TSU-FURANO ROUTE

T-3

農業セミナーの開催

【概要】農業が作りだす景観が観光資源となっている大雪・富良野ルートで、今後の農業を考えるために、農村地域活性化セミナーを開催。地元学を提唱している結城登美雄先生を招き、危機的な状況に直面している農業と地域について講演頂いた。

【日時】平成21年11月23日(月・祝) 14:00～17:45

【場所】西神楽農業構造改善センター

【主催】西神楽夢民村

【共催】NPO法人グラウンドワーク西神楽、西神楽地域振興協議会

【協力】一般社団法人 大雪・富良野ルートサポートセンター

【参加人数】約100名



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-4

情報拠点の運営

【概要】 ルートの情報発信（地元おすすめ情報など）を目的として、西神楽・美瑛・上富良野・富良野の全4箇所にシーニック情報拠点を開設。各地では、大雪・富良野ルート内のパンフレット等の配布のほか、地元の農産物のPRなどそれぞれ特徴的なサービスやビジネスを展開。西神楽の情報拠点では、地元農産物（夢民村）の直売を行っており、平成19年は約220万円を売り上げ、平成21年は地元住民にも支えられ約470万円を売り上げることが出来た。情報拠点のコミュニティビジネスとしても、可能性が見えてきている。

【日時】 平成21年5月～11月

【場所】 西神楽・美瑛・上富良野・富良野

【主催】 西神楽：夢民村、美瑛：循環型社会立案サポートセンター、上富良野：かみふらの十勝岳観光協会、富良野：富良野エコミュージアム



大雪・富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

T-5

ウィンターサーカスの開催

【概要】 第5回目となる雪のアートプロジェクト「ウィンターサーカス」を開催。今回は占冠村と連携し、ルート内5会場・高速道路会場1会場で開催。各会場では温かい飲食の提供を行い、旭川発着の無料バスツアーや雪の授業（旭川市・上富良野町）の開催も連携して実施した。

【日時】 イベント：平成22年2月6日（土）、7日（日） 17:00～20:00

雪の授業：1月25日（月）-西神楽聖和小学校、2月6日（土）-上富良野町児童館

【会場】 旭川市西神楽 美瑛町雪遊び広場 上富良野町深山峠・見晴台公園
占冠村アルファリゾートトマム 道央自動車道砂川SA

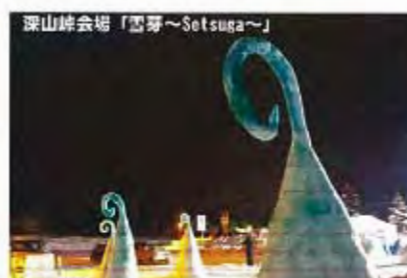
【主催】 シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート ウィンターサーカス実行委員会

【共催】 東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）、（社）北海道開発技術センター

【後援】 北海道開発局旭川開発建設部 大雪・富良野ルート運営行政連絡会議
（社）シーニックバイウェイ支援センター

【参加人数】 4会場計 約2,100人（トマム会場除く） バスツアー参加者（80人/2日間）

※ウィンターサーカスは企業からの協賛と北海道地域政策補助金にて実施



大雪・富良野ルート

FALL ISL-FURANO ROUTE

T-6

冬期集住・二地域居住 事業

【概要】西神楽にて観光旅行者の長期滞在を支援し、冬期には地域の高齢者が集まって済む「冬期集住・二地域居住」事業を実施。今年の実績として2年目となり、夏期には観光旅行者の試験的滞在、冬期には地域高齢者の長期滞在を実施した。昨年度より、多くのメディアに取り上げられ、様々な地域や団体が視察に訪れており、全国的にも先進的な事例として認知度が高い。西神楽以外の地域からも、集住施設に関する依頼があり、広がりを見せている。

【場所】旭川市西神楽

【主催】NPO法人グラウンドワーク西神楽

【参加人数】夏期滞在 4名、冬期集住 8名



東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

H-1

『ポケットマーケットの開催』

【内容】斜里町ウトロ中心街の交差点(神社山交差点)の余剰スペースを多目的に利用するためにデッキを設置した。これらのスペースを利用したポケットマーケットを開催して、地元住民と来訪者(観光客)が共有できるコミュニケーションの場となる活動を行った。

【日時】平成21年6月21日(日) 10:00~12:00

【場所】ウトロポケットパーク(斜里町ウトロ 神社山交差点)

【主催】しれとこウトロ・フォーラム21

【協力】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議、うとろナチュラルクラブ、知床ナチュラルリスト協会、斜里町ウトロ自治会、NPO法人みさきの風、斜里町

【参加者数】100名



▲ポケットマーケットの様子



▲販売の様子

『シーニック・ムービーの配信』

- 【目的】 北海道の美しい沿道景観を保全し、観光振興等へ活用する方策を目的に調査研究を行った。
- 【内容】 東オホーツクシーニックバイウェイルートの魅力をムービーによりインターネットで配信した。
- 【主催】 オホーツクホーストレッキング研究会
- 【実施日時】 平成21年4月29日～
- 【実施箇所】 「第14話 網走湖畔 日本最大級の水芭蕉群生地」、「第15話 大空町東藻琴 日本最大級の芝桜公園」、「第16話 絶景も悪天候には負ける 藻琴山小清水高原峠開き」、「第17話 短い夏の歴史絵巻「しれとこ斜里ねぶた」」、「第18話 球根生産農家の挑戦！小清水 リリーパーク」、「第19話 新たな特産品づくりへの挑戦！清里町商工会」
- 【総回数は】 1044件



▲第15話
第15話 大空町東藻琴 日本最大級の芝桜公園



▲第19話
新たな特産品づくりへの挑戦！清里町商工会

『オホーツクホーストレッキングin網走2009』

- 【内容】 オホーツクホーストレッキングin網走2009は、アウトドアスポーツとして、網走管内における農村地域を中心とする幅広い自然空間や地域資産の有効活用と施設の整備、活動組織への支援等の方策を検討し、ホーストレッキングの普及および振興を図り、都市住民との交流促進を通して農村地域の活性化並びにオホーツクの観光交流に寄与することを目的として、2日間開催し、初心者コース・上級者コースを設定し、参加者の希望に合わせた乗馬体験会を実施した。秋は、ウナベツで開催した。
- 【日時】 平成21年6月27日(土) 13:00～平成21年6月28日(日) 8:00～12:00
平成21年9月19～25日(ウナベツで開催)
- 【場所】 網走原生牧場周辺、ウナベツスキー場
- 【主催】 (社)知床観光コンベンション、オホーツクホーストレッキング研究会
- 【協賛】 東オホーツクシーニックバイウェイ運携会議、知床斜里町観光協会
- 【参加人数】 80名



▲ホーストレッキングの様子



▲馬上から見えるオホーツク海(斜里町海別)

- 【概要】 イベント等が開催されたときにニュースレターを発行し、ルート内の情報共有を図った。
今のところ、1号発行した。
- 【日時】 平成21年度
(※第1号は4月24日・発行)
- 【場所】 メール
→ 宗谷シーニックバイウェイ
ルート内
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ事務局



- 【概要】 利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃（ゴミ拾い）を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。
- 【日時】 平成21年4月28日（火）
- 【場所】 利尻町内
- 【主催】 利尻町建設協会・運輸協会利尻トラック部会
- 【協力協賛】 利尻町観光協会
- 【参加人数】 約100名



- 【概要】 稚内空港線（稚内空港前）の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。
- 【日時】 平成21年5月30日（土）
- 【場所】 稚内空港線（稚内空港前）
- 【主催】 フラワーマスター稚内
- 【協力協賛】 稚内土木現業所、宗谷建設青年会、稚内開発建設部
- 【参加人数】 約50名



- 【概要】 情報分科会の連携事業として、6月～9月の4ヶ月間、毎月月初日のマンスリー情報（計4回）、日祝臨休を除く毎日のデイリー情報（計92回）を計7名・団体に配信した。イベント・花・グルメ情報（月毎・日毎）、トピックス（月毎）の他、翌日までの天気予報や景色の情報（日毎）などの観光情報を日々流し、交換した。
- 【日時】 平成21年6月1日（月）～9月30日（水）【※日曜祝日及び臨時休業時は休刊】
- 【場所】 メール→宗谷シーニックバイウェイルート内
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ観光・情報分科会、稚内・利尻富士町・利尻町・礼文町・豊富町・猿払村 各観光協会

◆◆ 2009年8月 今月のルート内情報 ◆◆

★★ 2009年8月1日・2日のルート内情報 ★★

	稚内市 Kamihama City	豊富町 Toyouke Town	猿払村 Sarupai Village	利尻富士町 Rishiri Fuji Town	利尻町 Rishiri Town	礼文町 Reppu Town
観光案内所	稚内観光案内所 稚内市 稚内駅前 TEL: 0142-22-1111	豊富町観光案内所 豊富町 豊富駅前 TEL: 0142-22-1111	猿払村観光案内所 猿払村 猿払駅前 TEL: 0142-22-1111	利尻富士町観光案内所 利尻富士町 利尻富士駅前 TEL: 0142-22-1111	利尻町観光案内所 利尻町 利尻駅前 TEL: 0142-22-1111	礼文町観光案内所 礼文町 礼文駅前 TEL: 0142-22-1111
イベント	稚内マラソン大会 8月1日(月) 10:00開演	豊富町花祭り 8月1日(月) 10:00開演	猿払村花祭り 8月1日(月) 10:00開演	利尻富士町花祭り 8月1日(月) 10:00開演	利尻町花祭り 8月1日(月) 10:00開演	礼文町花祭り 8月1日(月) 10:00開演
グルメ情報	稚内海鮮丼 稚内市 稚内駅前 TEL: 0142-22-1111	豊富町海鮮丼 豊富町 豊富駅前 TEL: 0142-22-1111	猿払村海鮮丼 猿払村 猿払駅前 TEL: 0142-22-1111	利尻富士町海鮮丼 利尻富士町 利尻富士駅前 TEL: 0142-22-1111	利尻町海鮮丼 利尻町 利尻駅前 TEL: 0142-22-1111	礼文町海鮮丼 礼文町 礼文駅前 TEL: 0142-22-1111

	稚内市 Kamihama City	豊富町 Toyouke Town	猿払村 Sarupai Village	利尻富士町 Rishiri Fuji Town	利尻町 Rishiri Town	礼文町 Reppu Town
観光案内所	稚内観光案内所 稚内市 稚内駅前 TEL: 0142-22-1111	豊富町観光案内所 豊富町 豊富駅前 TEL: 0142-22-1111	猿払村観光案内所 猿払村 猿払駅前 TEL: 0142-22-1111	利尻富士町観光案内所 利尻富士町 利尻富士駅前 TEL: 0142-22-1111	利尻町観光案内所 利尻町 利尻駅前 TEL: 0142-22-1111	礼文町観光案内所 礼文町 礼文駅前 TEL: 0142-22-1111
イベント	稚内マラソン大会 8月1日(月) 10:00開演	豊富町花祭り 8月1日(月) 10:00開演	猿払村花祭り 8月1日(月) 10:00開演	利尻富士町花祭り 8月1日(月) 10:00開演	利尻町花祭り 8月1日(月) 10:00開演	礼文町花祭り 8月1日(月) 10:00開演
グルメ情報	稚内海鮮丼 稚内市 稚内駅前 TEL: 0142-22-1111	豊富町海鮮丼 豊富町 豊富駅前 TEL: 0142-22-1111	猿払村海鮮丼 猿払村 猿払駅前 TEL: 0142-22-1111	利尻富士町海鮮丼 利尻富士町 利尻富士駅前 TEL: 0142-22-1111	利尻町海鮮丼 利尻町 利尻駅前 TEL: 0142-22-1111	礼文町海鮮丼 礼文町 礼文駅前 TEL: 0142-22-1111

【概要】費用便益という道路事業の評価基準によって「道」が地域の生活を守り育てることが厳しく成りつつある現在、この地域にとって真に必要な道路についてもう一度新たな視点で考える。また、地域活性化は移住・交流だけでなく産業間の連携という事がキーワードとなっている現在、地域活性化のメニューと産業との関わり方について学ぶ。これらのテーマに基づいた識者を招へいし、講演いただいた。

【日時】平成21年6月5日（金）14:30～16:30

【場所】稚内合同庁舎 3階会議室

【主催】宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、未来のくらしと宗谷路（ネットワーク）を考える会

【参加人数】62名



【概要】礼文観光協会も協賛して記念品（町外参加者のみ）を提供している。翌日の利尻島一周マラソン（利尻島悠遊賢人G ※ ゆうゆうらんにくぐ）とも連携して実施している。

【日時】平成21年6月6日（土）

【場所】礼文島内

【主催】最北フラワーマラソン大会実行委員会

【協力協賛】礼文町観光協会・宗谷シーニックバイウェイ

【参加人数】218名



- 【概要】 夕来海岸を清掃し、拾い集めた流木でプランターを作製している。平成16年から流木プランターづくりを始め、翌17年より海岸清掃も同時に実施、現在まで継続されている。
- 【日時】 平成21年6月20日（土）海岸清掃と流木集め、
6月27日（土）流木プランター制作
- 【場所】 （海岸清掃と流木集め）夕来海岸
（流木プランター制作）風のがっこう稚内
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会・風のがっこう稚内
- 【協力協賛】 環境省、稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市、宗谷建設青年会、稚内測量設計協会、ほくでん、北星学園大学、稚内高校、稚内商工高校、稚内大谷高校、他
- 【参加人数】 約200名



- 【概要】 宗谷SBWエリアの6観光協会長が集い、エリア内観光について行政の枠を越えて協議を行い、東京・名古屋合同PR事業やチャーター機受入事業等を行っている。
- 【日時】 平成21年3月、8月
- 【場所】 稚内市
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート観光・情報分科会
- 【参加人数】 8~10人

旅行会社研修(2回)



東京・名古屋 観光誘致活動(3回)



2009年 チャーター機受入事業



宗谷シーニックバイウェイ

SY-9

SOVA Scenic Byway

2009 WAKKANAI みなとコンサート

【概要】 稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。

【日時】 平成21年8月23日（日）11:00~16:00

【場所】 北防波堤ドーム

【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク

【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー、稚内港湾事務所工事安全連絡協議会、北海道みなとの文化振興機構、他

【参加人数】 約1,000名



宗谷シーニックバイウェイ

SY-10

SOVA Scenic Byway

日本海VSオホーツク海グルメバトル

【概要】 地理的に日本海とオホーツク海に挟まれた稚内で、それぞれの海で水揚げされる食材を使った大鍋を食べ比べしてもらイベント。

【日時】 平成20年9月20日（日）~9月22日（火・祝）

【場所】 北防波堤ドーム（稚内港北防波堤ドーム特設会場）

【主催】 北防波堤グルメまつり実行委員会

【共催】 稚内観光協会・同青年部・稚内ホテル旅館業組合・稚内商工会議所女性部

【参加人数】 13,680名（3日間の延べ人数）



【概要】宗谷の一番の魅力である「環境」と「観光」について、地域ならではの個性的な風景（環境）や暮らしぶり（社会）、食（特産）の提供を新しい観光資源として、どう育成していけば良いのかなどについて検討していくため、識者による講演会を開催し意見交換などを行った。

【日時】平成21年10月6日（火） 13:30～16:00

【場所】稚内商工会議所 2F会議室

【主催】宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、景観・環境分科会

【参加人数】約50名



【概要】「宗谷らしい道路景観」を考えていく上で、良好な沿道景観形成の観点から道路付属物（大型案内標識、固定式視線誘導標）の施設による景観への影響その他について考えるワークショップを開催した。

【日時】平成21年11月6日（金） 13:30～16:30 現地視察ワークショップ

平成22年2月22日（月） 13:30～15:30 具体策検討ワークショップ

【場所】国道238号沿線・現地、及び稚内合同庁舎 3階会議室

【主催】宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会、稚内開発建設部

【参加人数】7名（現地視察WS）、11名（具体策WS）



- 【概要】 冬の稚内の観光メニューとして、普段は郊外の牧場にいるポニーによる馬そり体験（主にちびっ子相手）を楽しんで貰う。
- 【日時】 平成21年2月7日（日）11:00～14:00
- 【場所】 稚内副港市場駐車場
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他
- 【参加人数】 約200名



- 【概要】 稚内港北防波堤ドームを約1,000個のスノーキャンドルで彩る。今年にはモニターツアー客もキャンドル作り、点灯式に参加し大勢の市民とともに楽しんだ。また、真実の口を試みたが、年齢に関係なく多くの来場者に好評だった。各団体、町内会等との連携も4年目となり、さらにスムーズな連携活動となった。
- 【日時】 平成22年2月13日（土）17:00～21:00
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】 稚内市、宗谷支庁、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、市内高校3校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、藤建設、中田組、協進運輸、海上保安部、など
- 【参加人数】 準備 120名、来場者 600名



【概要】地域の自然環境・景観を守っていくことは、地域の経済（観光）と密接に関わっていることから、「環境と豊かさの両立」をテーマに環境への取組む啓発を宗谷エリア全体に広めていく必要があると考える。日本最北の離島、利尻・礼文で実際に行われている外来種混入防止や除去作業などの実践されている取組みについて、現地関係者を交えて検証・体験した。

【日時】平成22年3月9日（火）

【場所】礼文島（礼文町）、稚内市

【主催】NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー

【協力協賛】宗谷シーニックバイウェイ景観・環境分科会、環境NPO礼文島自然情報センター

【参加人数】7名



【概要】ルート内4箇所の既存店舗連携による、ドライブ情報拠点づくりを行っている。定期的にカフェスタッフミーティングを開催し、「ドライブ情報の発信」や「おもてなし向上」に向けた企画検討を実施している。過年度からの継続事業に加え、今年度は、苗木一本分の寄与が付いたオリジナルエコバッグの販路試行、観光客から問合せの多い項目を整理しドライブフリーマップとして発行、店内設置用のシーニックカフェPR文庫（シーニックカフェの想い）の作成と掲示、ルート主催イベント「オータムフェスタ2009」の企画等を実施した。

【日時】カフェは過年営業（一部冬期休業あり）、スタンブラリー実施（7/20-10/31）、カフェミーティングの実施（5/11、7/13、10/8、12/9 12:00-15:00）

【場所】シーニックカフェ（阿寒湖エリア：バン・デ・パン弟子屈エリア：ホームスイートホーム、中標津エリア：カフェカイヨウダイ、ジェラートシレット）カフェミーティング（5/11阿寒湖まりむね館、7/13弟子屈町錦のれん、10/8弟子屈町商工会、12/9中標津町経済センター）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ シーニックカフェプロジェクト、シーニックカフェ（バン・デ・パン、ホテルレイクスパたかだ、ホームスイートホーム、カフェカイヨウダイ、ジェラートシレット）

【協力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 情報広報部会（広報資料等の作成協力）

【活動団体名】弟子屈町商工会、阿寒湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、ボランティアネットワークチャレンジ隊

【参加人数】30人 【来場人数】8400人（カフェ利用者総計）

シーニックカフェ



シーニックカフェプロジェクトの活動 <平成21年度の活動例>



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-2

道東ウォーキングツーリズム推進検討

【概要】平成19年度より行われている中標津エリアでの検討に引き続き、阿寒湖エリアでも道東ウォーキングツーリズム推進に向けた調査を実施した。阿寒国立公園内 阿寒湖ポッケ〜滝口周辺の新規ルート設置を想定し、土地の管理者や地域住民、地域団体を含めた調査会を実施した。調査会では、ルート設定に向けた課題や方向性を抽出した。次年度以降は、より具体的なルートづくりに繋げる予定である。

【日時】11月15日 13:00~16:00 (第一回調査会)

【場所】阿寒湖ポッケ〜滝口周辺 (第一回調査会・現地調査)、阿寒湖まりむ館 (第一回調査会・検討会)

【主催】景観まちづくり部会 (Clear Stream Walking推進プラン)、阿寒湖エリア

【活動団体】NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構

【協力】釧路市阿寒行政センター阿寒湖畔支所、北海道釧路支庁、北海道森林管理局根釧西部森林管理所 (財) 前田一步園財団

【参加人数】15人 【来場者数】なし (調査のため計測不可能)



第一回調査会 当日配布資料 (春の季節調査結果より)

現地調査の様子

検討会の様子

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-3

ルート情報の発信 (ルートHP・モバイル版ルートHP)

【概要】平成17年度より実施している、ルートHPによる地域情報の発信を継続的に実施し、サイトのリニューアルも行った。またモバイル版ルートHPの作成検討を実施した。多言語翻訳版サイト (英語・中文繁体・中文简体・ハンガール) も作成し、シーニックカフェ等の情報拠点だけではなく、移動中にも地域情報入手できる仕組みを整えた。今後も「旬が伝わる」「顔が見える」情報発信を目指し、活動を継続する予定である。

【日時】モバイル版HP検討会 11/4中標津経済センター 16:00-17:00、3/9釧路市民活動センター 16:00-17:00

【場所】<http://www.scenic946.jp/> 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 情報広報部会

【活動団体名】ボランティアネットワーク・チャレンジ隊、(有)阿寒ネイチャーセンター、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部

【協力】37名の地域住民、ルート運営行政連絡会議

【参加人数】37名 【来場者数】ルートHP/月平均6000アクセス、モバイル版HP/平成22年3月開設のため調査中



リニューアルしたルートHP (トップ画面)

更新記事 (xslxさん)

モバイル版HP (トップ画面)

視覚紹介投稿

中文繁体

中文繁体

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

KU-4

Chitose-Sumoto-Sentou Byway

阿寒・摩周・中標津リレー清掃

【概要】今年で5年目の活動となり、春の恒例行事となっている清掃活動を行った。今年は、阿寒湖エリア、弟子屈エリア、中標津エリアの3箇所で開催した。エリア間で連携・協力（＝互いにお手伝い）することにより、沿道景観の美化だけでなく、エリア間のコミュニケーションの機会となっている。

【日時】阿寒湖エリア 幸運の森商店街清掃（4/24 9:00-12:00）・弟子屈エリア 摩周湖クリーンウォーク（6/6 9:00-12:00）
中標津エリア 中標津清掃奉仕活動（5/31 8:00-12:00）

【場所】阿寒湖エリア 幸運の森商店街・弟子屈エリア 国道241号、243号、391号を含む弟子屈町内の沿道
中標津エリア 中標津市街地（町道）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 景観まちづくり部会

【活動団体名】NPO法人阿寒観光協会、阿寒湖温泉連合町内会、（有）阿寒ネイチャーセンター、弟子屈町商工会
摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町自治会連合会、中標津町商工会青年部（社）中標津町青年会議所

【協力】弟子屈町、中標津町 【参加人数】50人（ルートからの参加者）

【来場者数】阿寒湖エリア50名、弟子屈エリア200名、中標津エリア20名



阿寒湖エリア 幸運の森商店街清掃



弟子屈エリア 摩周湖クリーンウォーク



中標津エリア 中標津町清掃奉仕活動

函館・大沼・噴火湾ルート

HA-1

Hakodate-Onuma-Funkawani Scenic Byway

シーニック清掃活動

【内容】4月29日を「シーニックの日」に制定し、観光客が多く集まる場所を中心として清掃活動を実施。昨年度に引き続き、五稜郭タワー周辺、大沼周遊道路、シーニック情報拠点でもある函館市地域交流まちづくりセンター周辺の3箇所と今年度新たに実施した戸井町汐首岬灯台周辺の計4箇所で開催。

【日時】平成21年4月29日（祝）

【場所】函館市・七飯町

【主催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【協力】（株）五稜郭タワー、自然公園財団大沼支部、山川草木を育てる会大沼本部、函館開発建設部、函館土木現業所、函館市、七飯町

【参加人数】約150名



一陸新聞 (5/1)

↓北海道新聞 (5/1)

みんなのまちきれいに



交通安全啓発も

函館・大沼・噴火湾ルート

HA-2

Hakodate-Onuma-Funkawann Scenic Byway

英国女性旅行家イザベラ・バードの足取りを訪ねる集いin函館

- 【内 容】明治11年の開国後まもなく日本を訪れた一人の英国人女性、“イザベラ・バード”。彼女はまだ鉄道もない東北から北海道へ、そして北海道では函館から室蘭、白老、平取まで歩き通した。2009年、開港150周年を迎える函館にて、イザベラ・バードが歩いた道を再び歩く会を実施。
- 【日 時】平成21年6月6日（土）、7日（日）
- 【場 所】函館市・七飯町・森町
- 【主 催】イザベラ・バードの道を辿る会
- 【共 催】（社）北海道開発技術センター、函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議
- 【協 力】北海道函館運輸支局、渡島支庁、函館市 など
- 【参加人数】約50名



函館・大沼・噴火湾ルート

HA-3

Hakodate-Onuma-Funkawann Scenic Byway

シーニックdeナイト2010鑑賞バスツアー

- 【内 容】シーニックdeナイトは今年で4年目を迎える活動であり、過去3年間、函館商工会議所の協力を頂き、シーニック関係者に対する無料バスツアーを実施してきた。今年度は、トップツアー株式会社の協力を頂き、地域住民及び観光客を対象とした有料バスツアーを実施した。シーニックdeナイト2010鑑賞地域は、函館新道と宮川神社（函館市館町 旧戸井町）とした。内容は、シーニックdeナイトの鑑賞だけでなく、地域の食・文化の体験、またカーボンオフセット型ツアーとしても実施した。
- 【日 時】平成22年2月13日（土） 17:00～22:00
- 【場 所】函館市
- 【主 催】トップツアー株式会社 函館支店
- 【協 力】シーニックdeナイト2010実行委員会
函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館運輸支局
- 【参加人数】28名

カーボンオフセット
型ツアー説明用資料



▲集合場所にて



▲キャンドルによるシーニックロゴマークの製作&点灯（函館新道にて）



▲松前神楽「巫女の舞」鑑賞（宮川神社にて）



▲つみれ汁・岩のりで巻いたおにぎり・タコ刺しの食事（宮川神社にて）

シーニックの森づくり事業（選木作業）

【内 容】昨年度実施した「洞爺湖サミット記念の森」事業の反省を踏まえ、シーニックの森協定書内にある森管理責任の項目について事前に森管理者から了承を得た。また、全道のシーニックの森づくりの概念に当ルート独自のエッセンス（人為的な開発以前の潜在的な植生を基本に自生種を活用すること）を加味し、苗木の選木・山取・仮植を実施した。

【日 時】平成21年9月16日（水） 10:00～13:00

【場 所】北斗市きじひき森林公園の森

【主 催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【協 力】北海道立林業試験場、渡島東部森づくりセンター、北斗市役所、はこだて広域森林組合

【参加人数】8名



シーニックの森づくり事業（植樹）

【内 容】仮植した苗木を、ルート運営代表者会議及びルート運営行政連絡会議他により植樹を行った。植樹後の11月13日（金）に、シーニックバイウェイ支援センターより、「シーニックの森第4号」として認定を受けた。

【日 時】平成21年11月7日（土） 11:00～12:00

【場 所】北斗市きじひき森林公園の森

【主 催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【協 力】函館開発建設部、北海道立林業試験場、渡島東部森づくりセンター、北斗市役所、はこだて広域森林組合

【参加人数】10名



函館・大沼・噴火湾ルート

HA-6

Hakodate-Onuma-Funkawann Scenic Byway

ルートミーティング

【内 容】地域活動団体メンバー及び行政メンバー同士の情報共有を図ることを目的に、ルートミーティングを実施した。第1部では、活動団体がこれまでに行ってきた活動の発表会を行い、第2部では懇親会を開催し交流を深めた。

【日 時】平成21年11月14日（土） 16:00～20:00

【場 所】湯の浜ホテル（函館市湯川町）

【主 催】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議

【協 力】函館開発建設部、函館運輸支局、函館市、シーニックボランティアスタッフ

【参加人数】49名



函館・大沼・噴火湾ルート

HA-7

Hakodate-Onuma-Funkawann Scenic Byway

シーニックdeナイト2010

【内 容】今年で4年目を迎えたシーニックdeナイト2010。キャンドルづくりから地域活動団体だけではなく、町内会や観光客と一緒にキャンドルを製作した。実施場所は、函館市地域交流まちづくりセンターや大沼、南茅部公民館周辺、道道函館上磯線、函館新道、宮川神社（旧戸井町）。

【日 時】平成22年2月1日（月）～13日（土）

【場 所】函館市・七飯町

【主 催】シーニックdeナイト2010実行委員会

【協 力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館開発建設部、函館土木現業所、函館市、七飯町

【参加人数】約600名



▲宮川神社（2/14）



▲大沼（2/7）



▲函館新道（2/14）



▲南茅部（2/7）

函館・大沼・噴火湾ルート

HA-8

Hakodate-Onuma-Finnkawan Scenic Byway

バリアフリーボランティア事業

- 【内 容】昨年度に引き続き、今年度は「函館市人づくり・まちづくり事業」の補助金を活用して事業を実施。第一弾は「第25回DPI日本会議全国集会in函館」開催に合わせ、昨年度と同様、函館駅及び函館空港にてバリアフリーボランティア活動を実施。
- 【日 時】平成21年6月12日（金）～15日（月） 10:00～16:00（JR函館駅）
平成21年6月13日（土）～14日（日） 10:00～16:00（函館空港）
- 【場 所】JR函館駅・函館空港
- 【主 催】函館バリアフリーボランティアプロジェクト実行委員会
- 【協 力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館開発建設部、函館運輸支局 など
- 【参加人数】約30名



函館・大沼・噴火湾ルート

HA-9

Hakodate-Onuma-Finnkawan Scenic Byway

トラベルサポーター養成講座

- 【内 容】身体障がい者や高齢者が一人でも気軽に旅行できるように、旅先での移動におけるサポートや食事・入浴介助などのトラベルサポーターを養成する講座を実施。
- 【日 時】平成21年8月19日（水）
- 【場 所】函館市地域交流まちづくりセンター、五島軒 ほか
- 【主 催】国土交通省北海道運輸局
- 【協 力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、五島軒ほか
- 【参加人数】約30名



【内 容】高齢者・障がいをお持ちの方等が気軽に外出や旅行に出掛けられる社会を目指し、障がいをお持ちの方が、出掛けた先で地域の住民ボランティアの方々の協力を得ることで、障がいをお持ちの方の旅行の質が向上し、さらに、介助を行う方の負担を軽減できる旅行商品を企画するため、サポート（介助）などにおける課題を把握する。

【日 時】平成21年9月5日（土）～7日（月）

【場 所】函館・札幌・旭川

【主 催】国土交通省北海道運輸局

【協 力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館トラベルサポーター など

【参加人数】約20名



9月5日(土)	9月6日(日)	9月7日(月)
12:00 函館発 乗合 12:20 函館発 出陣 12:30 函館発 出陣 13:00 函館発 出陣	12:00 函館発 乗合 12:20 函館発 出陣 13:00 函館発 出陣	12:00 函館発 乗合 12:20 函館発 出陣 13:00 函館発 出陣
17:00 函館山(ロープウェイ)散策見学 19:55 函館市内	9:00 小樽山行 12:30 小樽山行 15:15 札幌市 大通公園散策 16:20 大通公園 出陣 17:30 旭川山行	8:45 小樽山行 12:00 あさひやま動物園 15:00 あさひやま動物園 出陣 17:40 旭川山行 19:30 札幌発
朝食 朝食 朝食 朝食	朝食 朝食 朝食 朝食	朝食 朝食 朝食 朝食
宿泊 宿泊 宿泊 宿泊	ホテル ホテル ホテル ホテル	ホテル ホテル ホテル ホテル
送迎 送迎 送迎 送迎	送迎 送迎 送迎 送迎	送迎 送迎 送迎 送迎

【内 容】今年で6年目を迎えた函館新道における植栽活動である“はこだて花かいどう”。年々規模を拡大しており、片側600mの区間に花苗約10,000株、参加人数850人で6月に植栽活動を実施した。水やりや雑草取りなどの維持活動を経て、11月に撤去活動を行った。また、撤去した活動は次年度の肥料に再利用する堆肥づくりなど活動の幅も広がってきている。

【日 時】平成21年6月～11月（植栽日6月13日（土））

【場 所】函館新道

【主 催】函館花いっぱい道づくりの会

【協 力】函館・大沼・噴火湾ルート運営代表者会議、函館開発建設部、函館土木現業所、函館市、函館市水道局、（財）函館市住宅都市施設公社、函館新道沿線企業

【参加人数】850名（植栽時）



【内 容】 赤松こもまき・こも外しは、赤松に寄生する害虫駆除のために実施し、地元の宝である“赤松”を維持していく活動。当日には、道路沿線の清掃活動も行っている。

【日 時】 平成21年10月11日（日）（こもまき）

平成22年3月14日（日）（こも外し）

【場 所】 赤松街道（七飯町鳴川町）

【主 催】 赤松街道を愛する会

【協 力】 函館開発建設部、函館市、七飯町

【参加人数】 約30名ずつ



▲赤松こもまき



▲赤松こも外し



【内 容】 少量多品目という食の特性と持つ、当ルートの遠別漁協、遠別産業振興公社、そして留萌市のエフエムもえるが協力して、遠別の特産であるヒラメを地元はもちろん、全国に発信するため、オーナー制度を昨年構築。全国から623人の応募があり、選ばれた120人のオーナーは、漁イベント当日に揚がったヒラメや雑魚を山分けした。

漁当日には、遠別漁港で地域物産販売や、道の駅弁、地元の山芋を使ったトトロどんぶりなどをはじめ、地元の農業高校生が作った花なども実演販売され、約40人のオーナーをはじめ、地域住民もイベントを终日楽しんだ。平成22年も引き続き実施されることが決定している。

【日 時】 平成21年6月20日（土）

【場 所】 遠別漁港

【主 催】 ヒラメ底建網オーナーin遠別実行委員会（遠別漁協、遠別農業高校、エフエムもえる）

【協 力】 萌える天北Oloronルート運営代表者会議、(株)遠別産業振興公社、遠別地域マリンビジョンフォローアップ委員会

【後 援】 留萌開発建設部、北海道留萌支庁、遠別町



出港の様子



ヒラメひらき方教室



パネル展



出店状況

萌天の森プロジェクト

【内 容】 環境に配慮したドライブ観光の推進や、豊かな生態環境の創出、地域活性化の気運を高めるなどを目的として、遠別町の『萌天の森』で植栽活動を行っている。
5月にグイマツ、9月にはトドマツの植栽を行い、定期的に苗木周辺の下草刈りを実施している。
また、カーボンオフセット型ツアーによる「シーニックの森」づくりとも連携しており、植栽の受け入れ地としても取り組んでいる。

- 【日 時】 平成21年4月～10月 5回
- 【場 所】 天塩郡遠別町丸松
- 【主 催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議
- 【後 援】 北海道開発局留萌開発建設部



植樹活動状況



下草刈りのメンテナンス

寄り道しようよ！ 罷道！！プロジェクト

【内 容】 『苫前町三毛別ヒグマ事件』は、ライダー独自のコミュニティによって知れわたった観光スポットとなっています。一方、地元の飲食店等には、全国各地からロコミで多くのライダーが立寄っていますが、様々な情報交換の中では『苫前町三毛別ヒグマ事件』現場への経路が判りづらいといった声も聞かされています。このことはヒグマ事件現場に限ったことではなく、狩猟道路から離れた『バイウェイ』に観光資源が点在するというルート全体の共通の課題（特徴）でもあるのです。
そこで、本プロジェクトでは、ライダーの小気味な排他性や独自の情報ネットワークに着目し、沿道施設における情報（接客、ウェブ、パンフ、案内板）の整備を試験的にを行い、同時にライダーへのアンケートを実施して、ルート全体における『しつらえ』を形成するための考え方や、観光資源の良さを伝える情報コンテンツを明らかにします。

- 【日 時】 平成21年8月中旬～9月上旬
- 【場 所】 苫前町
- 【主 催】 苫前町観光協会・苫前町商工会青年部
- 【協 力】 苫前町郷土史研究会・苫前町イメージアップ協議会
- 【参加人数】 200人



三毛別ヒグマ事件復元現場



仮設誘導看板設置状況



来訪の記念としてのフラッグ

十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway ; TOKACHI PLAIN / SOYA Scenic Byway

十勝シーニックバイウェイ連携事業：イエローリボンプロジェクト

- 【概要】 十勝シーニックバイウェイとの連携として、資源作物栽培運動、帯広のばんえい振興を核とした活動。各ルートに配布されたヒマワリの種を、ルート内の沿道や花壇などに植栽し、ルートを“黄色の道でつなぐ”。秋には、その種を回収し、ヒマワリ油の原料として活用。
- 【日時】 平成21年6月1日～10月30日
- 【場所】 十勝平野・山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道の各市町
- 【主催】 十勝イエローリボンプロジェクト実行委員会
- 【参加人数】 30名以上（十勝平野・山麓ルート）



十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway ; TOKACHI PLAIN / SOYA Scenic Byway

6町連携活動（シーニック連携花壇）

- 【概要】 ルート内における地域づくりの核として、候補ルート時代より取り組んでいる6町の連携活動である。立て看板を統一するなど、シーニックバイウェイという名称の定着と、精神の伝搬に向けて、工夫を行っている。
- 【日時】 平成21年5月1日～11月30日
- 【場所】 各町の国道沿道や、駐車施設など
- 【主催】 各町の商工会など
- 【参加人数】 各町、10～30名程度。（ボランティア・サポート・プログラムも活用）



十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway ; TOKACHI PLAIN / SOYA Scenic Byway

十勝シーニックバイウェイ連携フォーラム

【概要】十勝シーニックバイウェイの冠を有する『十勝平野・山麓ルート』・『トカフチ雄大空間』・『南十勝夢街道』の3ルートが連携し、活動団体だけでなく、地域の方々と交えた、情報交流、情報発信の場所として機能している。毎年開催ルートを変更しながら、他ルートの地域を知り、自分のルートの魅力を伝える場として機能し、例年連携を深めている。また、外部からは食や観光、地域づくりの専門家を招くなど、新たな活動に向けた助言をいただくなど、プログラムの内容も充実されている。フォーラム後は、開催地のルート内の特産物が並び、地域のPRが積極的に行われている。

【日時】平成21年6月27日（土） 13:30~18:30

【場所】鹿追町民ホール

【主催】十勝シーニックバイウェイ連携フォーラム実行委員会

【共催】3ルート全市町（17市町）

【後援】十勝支庁、十勝毎日新聞、北海道新聞帯広支店、FM-JAGA、FMウイング、帯広開発建設部、シーニックバイウェイ支援センター

【参加費】フォーラム：無料、交流会：2,000円

【参加人数】200名



十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway ; TOKACHI PLAIN / SOYA Scenic Byway

十勝平野・山麓ルート内における「馬」を活用した滞在型観光商品開発の実地調査に関する研究

【概要】十勝平野・山麓ルート内では、各地区において個別事業者が馬を主眼とした観光商品を展開している。これらをルートの活動団体が媒介となって連携させ、長距離の馬の道を設定することで、新たな滞在型の観光商品を開発する。また、馬を活用した新たな観光商品が地域の景観形成に及ぼす影響について調査する。

【会議日時】平成21年8月25日（火）

【調査日時】平成21年11月8日（日）、11月15日（日）、12月12日（土）

【場所】サホロ湖（新得町）～ワイルドウエストライダーズクラブ（鹿追町笹川）～ヌブカの里（士幌町）

【主体】地域づくり分科会

【協力】WMRC・ヌブカの里

【参加人数】30名（3日間の延べ人数）

